

平成24年度
実施事業

事務事業名 市民が記憶する歴史収集事業

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	3	市民の個性ある文化活動と文化を育む
施策	2	文化の保存・継承
小分類	1	歴史の伝承と活用
主要な施策	2	②埋蔵文化財の保管、展示施設の整備と学習会の開催
事務事業番号	008	事業開始年度 平成 24 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	文字等の記録に残されていない市内の様々な事象に関する記憶が風化・消滅する前に、情報を有する人物から聞き取り調査を実施し、記録することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市の過去を経験・記憶している方を情報提供者として、聞き取り調査を行い、その内容を明文化する。 ・聞き取り調査 ・記録音声の文字化 ・文字化資料のデータベース化等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	過去2年間において収集した資料をもとにした地区ごとの成果展の実施をもって、本事業は平成25年度で終了するが、今後についても随時、登別市の歴史を収集・記録・保存していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		50	250		
事業費 合計			0	50	250	0	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 聞き取り回数	回	目標値		15	0		
			実績値		17			
	② 展示回数	回	目標値		0	5		
			実績値		0			

比較 《 Check 》

平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等 ・ 情報提供者の検索	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等 ・ 町内会等を通じ、地域の情報提供者になりえる人物を紹介していただいた。
---	--

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 市民の貴重な財産である市の歴史の収集であることから、市が主体的に実施していくべきである。ただ、専門の調査業者や研究会でも実施することが可能であるが、その後の情報の取り扱い等、市が責任を持って管理して行く必要がある。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 失われていく登別市の歴史を記録していくことにより、将来に対しての歴史資源となるため、必要性の高い事業といえる。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 少人数での調査で多くの聞き取り情報を得ているため。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 聞き取りの要望だけでなく、合わせて写真資料の寄贈もあり、成果がある。

①担当グループによる評価 《 Check 》

終了	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	平成23年度からの3カ年事業(平成23年度は北海道の補助金を活用した別枠の事業)として始まり、平成25年度が最終年度となるため。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《 Check 》

終了	備考	
-----------	----	--